

平成 29 年度
「認定事業場の品質管理向上のための人材養成」
事業報告書

目 次

1. 事業目的	1
2. 事業の内容（計画）	1
3. 事業の実施結果及び成果	2
4. 委員会	8
5. 成果物	9
6. 各講習会、研修会記録写真	10

1. 事業目的

認定事業場（証明事業場を含む。）は、船用機器の製造、改造・修理、整備及び船用品の整備について、国が行う船舶安全法に基づく検査の一部を代行する任務を有している。従って、これら事業場は、経済環境の変動、技術革新の進展等に的確に対応しつつ、常に法定要件を満足する品質管理体制を維持する責務が課せられている。加えて、国際的な ISO9001 による品質マネジメントシステムの導入が国際競争力を確保する上で不可欠な状況となっており、国際化にも対応した品質管理体制を構築、維持することが求められている。

このため、本事業では、法の要件に加え、ISO9001 や最新の品質管理システム(TQM: 総合的品質管理)にも精通した人材の養成、確保を図り、技術者の世代交代にも対応できるように、船用機器の製造等工事管理者及び船用品の整備技術者の養成のための講習又は研修を実施する。これにより、認定事業場制度の円滑な運用に資するとともに、船舶の安全航行及び人命の安全に寄与することを目的とする。

2. 事業の内容(計画)

船用機器の製造等認定事業場、膨脹式救命いかだ整備事業場及び GMDSS 整備事業場等の技術者に対する講習会・研修会を次により開催し、技術者の世代交代にも対応できるように人材を養成、確保する。

(1) 船用機器製造工事管理者品質管理講習・研修

東京都において製造認定事業場の技術者 50 名を対象に、講習 3 日、試験 1 日の講習会を実施する。

伊東市及び大阪市において船用機器製造工事管理者 60 名を対象に、3 日間の研修会を実施する。

(2) 船用機器修繕工事管理者品質管理講習・研修

大阪市において修繕・整備事業場の管理者 30 名を対象に、講習及び試験で合わせて 3 日間の講習会を実施する。

また、東京都において船用機器修繕工事管理者の更新対象者 30 名を対象に、2 日間の研修会を実施する。

(3) 船用品整備技術講習・研修

① 膨脹式救命いかだ整備技術講習会

東京都において膨脹式救命いかだ整備事業場の技術者 40 名を対象に、6 日間の学科・実技講習及び試験を行う講習会を実施する。

② 降下式乗込装置整備技術講習会

降下式乗込装置整備事業場の技術者 20 名を対象に、さいたま市及び横浜市において 3 日間の実技講習及び試験と東京都において 2 日間の学科講習及び試験を

行う講習会を実施する。

③ 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

八戸市、大阪市及び高松市において膨脹式救命いかだ整備技術者 90 名を対象に、2 日間の学科及び実習の研修会を実施する。

④ 降下式乗込装置整備技術研修会

広島市において降下式乗込装置整備技術者 30 名を対象に、2 日間の学科及び実習の研修会を実施する。

⑤ GMDSS 救命設備整備技術研修会

東京都及び大阪市において GMDSS 救命設備整備技術者 50 名を対象に、1 日の学科及び実習の研修会を実施する。

3. 事業の実施結果及び成果

(1) 製造関係

① 船用機器製造工事管理者品質管理講習会

講習会には、21 事業場から 43 名が受講し、講習 3 日及び試験 1 日の講習会を実施した。試験の結果 40 名が試験に合格し、合格者に「製造工事管理者」の資格が本会から付与され、今後、当該事業場の管理者(候補者)として品質管理の実務に従事することになった。

実施日	場 所	実 施 内 容
H29. 10. 17(火) ～ H29. 10. 20(金)	連合会館 2 階 201 号会議室 (東京都千代田区) (受講者 43 名)	講習内容 ①船舶の安全に関する法規と認定事業場の関係 ②認定事業場の組織と品質保証体系 ③認定事業場の品質保証活動 設計管理、製品の信頼性、生産管理、検査管理、 文書管理、教育訓練、内部監査等 試験 筆記試験

② 船用機器製造工事管理者品質管理研修会

対象となる船用機器製造工事管理者に対し受講を要請し、28事業場の71名（大阪市39名、伊東市32名）が受講した。研修会は3日間で、受講者全員71名が資格更新について適格であると評価され、製造工事管理者に相応しい品質管理技術の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H29. 9. 19(火) ～ H29. 9. 21(木)	ホテルコスモスクエ ア国際交流センター (大阪市) (受講者 39名)	研修内容 ①講義 ・人づくりの要点と感性-技術・技能の伝承に関連して- ・ヒューマンエラーと品質管理 ・法令改正に関する概要説明 ・教育、トレーニング、技術伝承 ・技術者倫理概論及び船用ディーゼル機関の環境対応
H29. 11. 15(水) ～ H29. 11. 17(金)	ルネッサ赤沢 (伊東市) (受講者 32名)	②グループ討論 テーマ：「自社工場（事業場）における予防処置項目の抽出とその効用について」、「誤作品及び不適合品の低減対策について」、「有益な人材育成と技術技能伝承について」（選択） 同上 成果発表 同上 講評及び指導

(2) 修繕関係

① 船用機器修繕工事管理者品質管理講習会

平成29年度は大阪市内で開催し、受講者数は目標30名に対して、13事業場から20名が参加した。講習会は3日間で講習及び試験を実施し、20名全員が合格した。合格者には「修繕工事管理者」の資格が本会から付与され、当該事業場の実務者を指導・管理する管理者として修繕工事における品質の確保・向上のため尽力することが期待される。

実施日	場 所	実 施 内 容
H29. 10. 25(水) ～ H29. 10. 27(金)	新大阪丸ビル別館 (大阪市) (受講者20名)	講習内容 ①修繕に関する安全法規 ②舶用機器の修繕の実態について 中速機関及び付属機器、高速機関、減速逆転機、 軸系、プロペラ、燃料油、潤滑油 ③修繕事業場における品質管理 認定事業場制度の概要、修繕事業場の経営のあり 方、修繕事業場における品質管理、工事管理、作 業管理、作業場管理、設備管理、技術情報管理 ④修繕事業場における環境管理 ⑤筆記試験

② 舶用機器修繕工事管理者品質管理研修会

対象となる舶用機器修繕工事管理者に対し参加を要請して東京都内の会場で開催し、その結果、合せて14事業場の18名が参加した。研修会は2日間で、レポート審査の結果、参加者全員が資格更新について適格であると評価され、修繕工事管理者に相応しい品質管理技術の維持、向上を図ることができた。

また、非会員会社に所属し、永年、管理者資格を所持する優良な修繕工事管理者を表彰する制度を設けているが、今年度は1名の表彰を行った。結果として修繕工事管理者としてのモチベーションの向上に資することができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H29. 11. 28(火) ～ H29. 11. 29(水)	メルパルク東京 (東京都港区) (受講者18名)	研修内容 ①修繕に関する安全法規 ②修繕事業場における品質管理 品質管理のあり方、不適合の事例研究、機関電子 制御及び海上における状態監視システムの概要 ③「わざ」の伝承と感性 一人材育成に関連して－ ④技術交流会 テーマ：「修繕品質を高めるために」 ⑤レポート作成・提出

(3) 船用品整備関係

① 膨脹式救命いかだ技術講習会

全ての船用品整備事業場を対象に参加者を募り、26事業場から39名が受講した。講習会は6日間で、学科・実技講習及び試験を実施し、37名が合格した。合格者には、「膨脹式救命いかだ整備技術者」の資格が、当会から付与された。今後、所属事業場の整備技術者として整備の実務に従事することになった。

実施日	場 所	実 施 内 容
H29. 10. 2(月) ~ H29. 10. 7(土)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者39名)	学科講習 ・船舶安全法及び関係法令 ・いかだの構造、材料、点検整備関係 ・自動離脱装置の構造、点検整備関係 ・漏洩試験の判定・もやい綱の計算等 実技講習 ・いかだの点検・整備方法 ・艀装品の名称、用途及び点検方法等 ・各種試験の実施方法及び判定基準等 学科試験 実技試験 ・艀装品の使用目的・性能等 ・いかだの折りたたみ等整備技術 ・充気装置の点検・組み立て

② 降下式乗込装置整備技術講習会

全ての船用品整備事業場を対象に参加者を募り、10事業場から14名が受講した。講習会は、降下式乗込装置の製造メーカーにおいて実技講習及び試験が3日間で、東京において学科講習及び試験が2日間で実施した。受講者のうち12名が合格した。合格者には、「降下式乗込装置整備技術者」の資格が、当会から付与された。今後、所属事業場の整備技術者として整備の実務に従事することになった。

実施日	場 所	実 施 内 容
H29. 8. 2(水) ～ H29. 8. 4(金)	藤倉ゴム工業(株) (さいたま市) (受講者 10名)	実技講義 ・シュータ構造等の講義 ・収納・格納等一連の実技訓練を実施 ・MES (船上退船システム) に関するラフト案内索等の点検・整備要領の講義
H29. 8. 7(月) ～ H29. 8. 9(水)	RFD ジャパン(株) (横浜市) (受講者 4名)	実技教材 ('96SOLAS 対応) : ・藤倉ゴム工業株(FZMES 型及び FSMES 型) ・RFD ジャパン(TES 型) 実技試験 ・シュータの収納・格納等一連の実技
H29. 12. 7(木) ～ H29. 12. 8(金)	(一社)日本船舶品質管理協会 (東京都千代田区) (受講者 12名)	学科講習 ・船舶安全法及び関係法令 ・シュータの構造、材料、点検整備関係 ・MES (船上退船システム) の講義 学科試験

③ 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

対象となる膨脹式救命いかだ整備技術者に対し受講を要請し、3地区(八戸市、高松市、大阪市)で合計100名が参加した。

実技実習の結果は、整備規程に基づいてメーカ講師のチェックが行われ、良好であった。

新旧型式の教材を使用したことにより、整備技量の維持、向上はもとより、我が国における膨脹式救命いかだ整備体制の維持、強化を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H29. 7. 26(水) ～ H29. 7. 27(木)	かがわ国際会議場 展示場 (高松市) (受講者 27名)	講義 点検、整備、積付け、整備上の留意点(在来型いかだ、新型いかだ及び RFD-Toyo タイプいかだ)、メーカからの連絡事項等

H29. 9. 20(水) ～ H29. 9. 21(木)	アジア太平洋トレードセンター (大阪市) (受講者 43名)	実技 教材：新旧7型式のいかだ（'96SOLAS 適合5形式、'83SOLAS 適合2形式）及び架台 技術内容：実ガス膨脹、折り畳み、格納及び積付け、接着修理
H29. 11. 21(火) ～ H29. 11. 22(水)	八戸市水産会館 (八戸市) (受講者 30名)	質疑応答、メーカーからの連絡事項、品管からの連絡事項等

④ 降下式乗込装置整備技術研修会

対象となる降下式乗込装置整備技術者に対し受講を要請し、31名が参加した。

メーカー2社の海上退船システム(MES)と位置付けられる3型式の'96SOLAS 適合降下式乗込装置を教材にして、2日間にわたり船上及び整備事業場内における点検、整備に関する指導を行った。'96SOLASに適合する降下式乗込装置は海上退船システム(MES)の中核的な役割を担うことから、整備に関する講師からの実技指導に対し、質疑・応答も活発に行われ、整備技術者の技量の維持・向上はもとより、我が国における降下式乗込装置整備体制の維持、強化を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H29. 8. 30(水) ～ H29. 8. 31(木)	広島県立 広島産業会館 (広島市) (受講者 31名)	講義 船上で行う点検と注意事項 S.Sで行う点検と注意事項 格納・積付けと注意事項 MESの講義 実技 教材：'96SOLAS 適合品 (スパイラル式2型式、ジグザグ式1型式) 技術内容：折り畳み、格納及び積み付け 質疑応答、品管からの連絡事項等

⑤ GMDSS救命設備整備技術研修会

対象となる GMDSS 救命設備整備技術者に対し受講を要請し、17 事業所から 18 名が参加した。

研修受講者に対しては、整備にあたっての留意点、電波の誤発射防止に係る船舶乗組員に対する啓発事項並びに関連法規を周知するとともに、実機による指導を実施して整備技量の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H29. 11. 30(木)	大阪リバーサイド ホテル (大阪市) (受講者 18名)	講義 GMDSS 及び海上通信関連の最新動向 機器整備上の留意事項 整備記録作成上の注意事項 実技 整備要領及び整備時の注意事項

4. 委員会

事業の実施にあたり、学識経験者、その他関係者からなる委員会を設けた。

(1) 製造工事管理者品質管理講習・研修委員会

平成29年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を3回開催し、指導書の改訂、試験の方法、講習会・研修会の実施方法、講習会・研修会の結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、試験小委員会を3回開催し、試験問題の作成、試験の実施方法、試験結果の評価等を審議、検討した。

(2) 船用機器修繕講習委員会

平成29年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を3回開催し、講習会及び研修会の実施方法、教材の作成、講習会及び研修会の実施結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、試験小委員会を3回開催し、試験問題の作成、レポート課題の作成と実施方法及び試験結果の評価、レポート内容の評価等を審議、検討した。

(3) 船用品整備技術講習委員会

平成29年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を2回開催し、講習会等の実施方法、実施結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、いかだ・シュータ小委員会3回、GMDSS 小委員会3回を開催し、それぞれ講習会、研修会の実施方法、実施結果等を審議、検討した。また、整備試験小委員会2回を開催し、試験問題の作成、試験の実施方法、試験結果の評価等を審議、検討した。

5. 成果物

講習会等の実施手段として次の図書を作成した。

(1) 品質管理指導書	
第1分冊 品質管理編	90部
第2分冊 法令編	90部
(2) 船用機器製造工事管理者研修会テキスト	
「人づくりの要点と感性」ー技術・技能の伝承に関連してー	120部
「教育、トレーニング、技術伝承」	120部
「技術者倫理概論」「船用ディーゼル機関の環境対応」	120部
(3) 船用機器製造工事管理者 品質管理研修会 グループ討論のまとめ	130部
(4) 船用機器修繕工事管理者講習会/研修会テキスト	85部
(5) 膨脹式救命いかだ整備技術指導書	80部
(6) 降下式乗込装置整備技術指導書	40部
(7) GMDSS 救命設備整備技術指導書(第1部、第2部)	各35部

6. 各講習会、研修会記録写真

目 次

- ① 舶用機器製造工事管理者品質管理講習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
(平成29年10月17日～20日：東京都千代田区)

- ② 舶用機器製造工事管理者品質管理研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
(平成29年9月19日～21日：大阪市)
(平成29年11月15日～17日：伊東市)

- ③ 舶用機器修繕工事管理者品質管理講習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
(平成29年10月25日～27日：大阪市)

- ④ 舶用機器修繕工事管理者品質管理研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
(平成29年11月28日～29日：東京都港区)

- ⑤ 膨脹式救命いかだ整備技術講習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
(平成29年10月2日～7日：東京都江東区)

- ⑥ 降下式乗込装置整備技術講習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
実技 (平成29年8月2日～4日：さいたま市)
(平成29年8月7日～9日：横浜市)
学科 (平成29年12月7日～8日：東京都千代田区)

- ⑦ 膨脹式救命いかだ整備技術研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
(平成29年7月26日～27日：高松市)
(平成29年9月20日～21日：大阪市)
(平成29年11月21日～22日：八戸市)

- ⑧ 降下式乗込装置整備技術研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
(平成29年8月30日～31日：広島市)

- ⑨ GMDSS 救命設備整備技術研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
(平成29年11月30日：大阪市)

① 船用機器製造工事管理者品質管理講習会

(平成29年10月17日～20日：東京都千代田区 連合会館2階201号会議室)



② 舶用機器製造工事管理者品質管理研修会

(平成29年9月19日～21日：大阪市 ホテルコスモスクエア国際交流センター)



(平成29年11月15日～17日：伊東市 ルネッサ赤沢)



③ 船用機器修繕工事管理者品質管理講習会

(平成29年10月25日～27日：大阪市 新大阪丸ビル 別館)



④ 船用機器修繕工事管理者品質管理研修会

(平成29年11月28日～29日：東京都港区 メルパルク東京)



⑤ 膨脹式救命いかだ整備技術講習会

(平成29年10月2日～7日：東京都江東区 東京海洋大学越中島キャンパス)



⑥ 降下式乗込装置整備技術講習会

(平成29年8月2日～4日：さいたま市 藤倉ゴム工業(株))



(平成29年8月7日～9日：横浜市 RFD ジャパン(株))



(平成29年12月7日～8日：東京都 (一社)日本船舶品質管理協会)



⑦ 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

(平成29年7月26日～27日：高松市 かがわ国際会議場)



(平成29年9月20日～21日：大阪市 アジア太平洋トレードセンター)



(平成29年11月21日～22日：八戸市 八戸市立水産会館)



⑧ 降下式乗込装置整備技術研修会

(平成29年8月30日～31日：広島市 広島県立広島産業会館)



⑨ GMDSS 救命設備整備技術研修会

(平成29年11月30日：大阪市 大阪リバーサイドホテル)

